

2025年11月14日

関係各位

野村ホールディングス株式会社  
コード番号8604  
東証プライム市場・名証プレミア市場

## **Park Square Capitalと米国プライベート・クレジット領域で 戦略的アライアンスを締結**

～米国シニア・ダイレクト・レンディング市場での資金調達ソリューション・サービスを拡充～

野村ホールディングス株式会社(代表執行役社長 グループCEO:奥田健太郎)は、欧州で創業し、20年以上の実績を持つプライベート・クレジット運用会社 Park Square Capital(以下「パークスクエア」と、米国のシニア・ダイレクト・レンディング市場<sup>\*1</sup>における案件創出および引受機能を強化するための戦略的アライアンスを締結しました。本アライアンスは、野村の米国インベストメント・バンキング・ビジネスの競争力を向上させ、プライベート・マーケット領域におけるソリューション提供サービスを拡充します。

本アライアンスにもとづき、パークスクエアが設立する初の米国専用シニア・ダイレクト・レンディング向けファンド「U.S. Loan Partners」に対して、野村はリミテッドパートナー(LP)として1億5,000万ドルを出資します。U.S. Loan Partners はミドルマーケットのシニア・セキュアード・レンディング<sup>\*2</sup>を主な投資対象とし、パークスクエアの北米におけるジュニア資本およびシンジケート・ローンへの10年以上の投資実績を基盤に運用されます。野村の出資は、パークスクエアの厳格で選別的な投資方針への高い信頼の裏付けです。

パークスクエアは本アライアンスにより、野村の米国インベストメント・バンキングが独自の強みを有する買収レバレッジド・ファイナンスやアドバイザリー・ビジネスを通じて創出したユニットランシェ型<sup>\*3</sup>のプライベート・クレジットへのアクセスが可能になります。これによりパークスクエアの引受機能が拡充され、より規模の大きな案件に対し包括的なファイナンス・ソリューションが提供可能になります。また、野村を含むLPにとっても共同出資機会の創出が期待されます。

野村にとって本アライアンスは、プライベート・マーケット機能の強化および米国インベストメント・バンキング・ビジネスの拡充というグループ戦略と合致する重要な取り組みです。これにより、野村が従来提供してきたシンジケート・ローンやハイ・イールド債の引受・販売に加え、ダイレクト・レンディングによる資金供給手段をスポンサーおよび発行体顧客に対し提示できるようになります。パークスクエアの有するダイレクト・レンディング市場における深い知見に野村の顧客カバレッジ力およびグローバルな販売チャ

ネルを組み合わせ、顧客企業の資金調達ニーズと投資家の運用ニーズの橋渡しを行い、プライベート・クレジット市場の発展に貢献していきます。

以上

- ※1 シニア・ダイレクト・レンディングとは、銀行を介さずに直接貸し手が借り手に返済優先順位の高い貸付を行う資金供給手法です。
- ※2 シニア・セキュアード・レンディングとは、借り手の資産などの担保で裏付けられた返済優先順位が高い融資です。
- ※3 ユニランシエ型とは、シニア融資とメザニン(劣後)融資を一本化し、単一の金利・契約で提供する融資の形態です。

#### <Park Square Capitalの概要>

Park Square Capital は2004年に設立されたプライベート・クレジット運用会社であり、シニア債務、中堅企業向けの直接ローン、劣後債、ストラクチャードエクイティ等を投資対象としています。これまでに320億ドル超を投資し、現在は190億ドル超の運用資産を管理しています。同社は140名超のスタッフを擁し、ロンドン、ニューヨーク、パリ、フランクフルト、ストックホルム、東京、ソウル、ルクセンブルク、シドニー、ダラスに拠点を構えています。詳細は [www.parksquarecapital.com](http://www.parksquarecapital.com) をご参照ください。